

所 管 事 務 調 査 報 告 書

平成30年6月15日

洞爺湖町議会議長 佐々木 良 一 様

経 済 常 任 委 員 会
委員長 板 垣 正 人

本委員会は、所管事務調査のため、次のとおり委員会を開催したので、その結果を報告します。

記

○所管事務調査その1

- 1 調査事項 財田遊歩道の整備及び財田キャンプ場の遊具の現況について
- 2 調 査 日 平成30年6月5日（火）
- 3 出席委員 板垣委員長、岡崎副委員長、小松委員、沼田委員、大屋委員、篠原委員、大西委員
- 4 説明員等 洞爺総合支所 伊藤総合支所長、庶務課 見付課長
- 5 調査結果

(1) 財田遊歩道の現況について

財田遊歩道は、洞爺村保健環境保全林整備事業として平成10年度に完成した。総延長1.8kmで、ウッドチップの遊歩道や案内板、休憩ベンチやトイレなどが設置されている。

平成27年度は、キャンプ場エリアの遊歩道の一部の補修整備（12箇所、180㎡、事業費405万円）を行っている。平成29年度は、仲洞爺側の遊歩道の補修整備（延長77m、154㎡、事業費41万5,000円）を行っている。

なお、委員からは休憩ベンチやトイレの経年劣化が見受けられ、利用者がケガをする危険性があるとの指摘があり、町において、今後、施設の維持・撤去を含め検討されたい。

(2) 財田キャンプ場の遊具の現況について

キャンプ場内に設置されているターザン遊具については、平成16年度に設置されており、キャンプ場内には本遊具の1か所のみとなっている。

今回の修繕箇所については、クライム支柱・斜め支柱交換、ネット踊場支柱・梯子斜め支柱・梯子踏み丸太交換、ターザンスタート上部梁、ターザンゴール支柱・上部梁交換（交換部材は、全て防腐剤注入品）などとなっており、6月中旬から7月末までの工期で、約100万円の事業費となっている。

なお、長期的な遊具の利用を考えると、強度のある部品による修繕が必要であるとの意見が出された。

また、キャンプ場に設置してある電動チェーンゲートについても、上手く作動しないなどの不具合が出ている。夏季には多くのキャンプ客が訪れるため（平成29年度実績 15,355名）、町においては整備等の方向性の検討が必要である。

○所管事務調査その2

- 1 調査事項 噴水公園の現況及び遊具の配置状況について
- 2 調査日 平成30年6月5日（火）
- 3 出席委員 板垣委員長、岡崎副委員長、小松委員、沼田委員、大屋委員、篠原委員、大西委員
- 4 説明員等 経済部 鈴木参与、火山科学館 杉上館長、観光振興課 田仁主幹
- 5 調査結果

噴水公園は、平成19年度に洞爺協会病院跡地に整備を行い、面積は1.68haでその他公園として条例で定めている。

建設当初は、町づくり交付金事業として2億9,658万円でコンビネーション遊具と噴水施設を整備した。その後、平成24年・平成25年にコンビネーション遊具（事業費1,512万円）を設置し、平成29年度は休憩施設整備として、ベンチに屋根（4箇所、事業費473万円）が設置されている。

本年度は、滑り台1基（延長11m、傾斜度25度、事業費1,500万円）を10月末までに設置を予定している。

本公園は、町内外から多くの子供たちの憩いの場として利用されており、今後も町内外の利用者が増え、本公園全体が多くの人たちに利用されるよう望む。